



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6380 URL <https://www.ocm.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）杉山 敏之
問合せ先責任者 （役職名）上席執行役員管理部長 （氏名）林 泰弘 TEL 076-276-1155
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	2,045	2.2	△50	—	△55	—	98	145.7
2025年3月期中間期	2,000	—	76	—	74	—	40	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △30百万円（－％） 2025年3月期中間期 17百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	70.94	—
2025年3月期中間期	28.87	—

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2025年3月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	4,973	1,804	36.3
2025年3月期	5,130	1,855	36.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,804百万円 2025年3月期 1,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2026年3月期	—	15.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,917	△3.4	△41	—	△52	—	101	0.8	73.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	1,467,233株	2025年3月期	1,467,223株
2026年3月期中間期	81,466株	2025年3月期	81,466株
2026年3月期中間期	1,385,767株	2025年3月期中間期	1,385,861株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復傾向が見られましたが、継続的な物価上昇による個人消費の鈍化など、景気の下振れリスクとなる懸念も見られました。また、米国の通商政策の動向や、ウクライナ・中東情勢の緊迫化など、不確実性の高い外的要因が多く存在しており、今後も先行きが不透明な状況が継続するものと思われます。

このような状況下にあつて当社グループは、お客様の要望に沿った特殊分野への営業活動を強化するとともに、コスト削減など生産性を高める基本的取り組みを継続してまいりました。また、物価上昇等の影響が先行したことに伴い収益低下が発生しておりますが、適正利益の確保に向けた販売価格の見直しを実施いたしました。

また、2025年8月28日に公表しましたとおり、当社は片山チエン株式会社との業務提携契約を締結いたしました。本業務提携は、両社の強みを最適化することで売上拡大や業務効率化等を図るものであり、相互協力関係を強化する取り組みを継続しております。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は2,045百万円（前年同期比2.2%増）となりました。利益面につきましては、営業損失50百万円（前年同期は76百万円の利益）、経常損失55百万円（前年同期は74百万円の利益）となりました。また、2025年7月23日に公表しましたとおり、投資有価証券の売却益（特別利益）157百万円の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益98百万円（前年同期比145.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①チェーン事業

米国の通商政策や一部の輸出相手国において輸入規制に伴う出荷遅延等が影響し、海外向け受注は低調に推移しました。国内向け受注は生産ラインの更新案件等を獲得することができたことに加え、お客様の生産性向上・生産設備の維持修繕コスト削減に貢献するため、当社オリジナル製品である高耐食性チェーン等の営業に注力したことにより、製品採択が増加いたしました。

これらの結果、売上高は1,913百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は69百万円（前年同期比64.5%減）となりました。

②金属射出成形事業

医療部品関連の受注を伸ばすことができたことに加え、令和6年能登半島地震の影響により停滞していた自動車関連部品の受注回復がみられました。

その結果、売上高は113百万円（前年同期比28.7%増）、営業利益は8百万円（前年同期比541.7%増）となりました。

③不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、売上高は18百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は11万円（前年同期比0.0%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は4,973百万円となり、前連結会計年度末と比べ156百万円減少となりました。主な要因としては、当社保有の上場有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券が215百万円減少したこと、生産設備の更新により有形固定資産が75百万円増加したことによるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は3,169百万円となり、前連結会計年度末と比べ104百万円減少となりました。主な要因としては、借入金の約定弁済が進行したことに伴い長期借入金が126百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、1,804百万円となり、前連結会計年度末と比べ51百万円減少しました。主な要因としては、売却した上場有価証券に係るその他有価証券評価差額金が126百万円減少したこと、親会社に帰属する中間純利益98百万円の計上、剰余金の配当20百万円の支払いによるものです。

これらの結果、連結ベースの自己資本比率は36.3%（前連結会計年度末は36.2%）となりました。

（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は278百万円となり、期首残高と比べ29百万円減少しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローはプラス140百万円（前年同期はプラス49百万円）となりました。これは主に、減価償却費116百万円、仕入債務の増加70百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス26百万円（前年同期はマイナス259百万円）となりました。これは主に、有価証券の売却による収入230百万円、有形固定資産の取得による支出248百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローはマイナス140百万円（前年同期はプラス126百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出154百万円によるものであります。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間におきまして、2025年5月12日公表の業績予想との間に差異が生じました。また、2026年3月期の通期業績予想につきましては、当中間連結会計期間までの業績及びその後の経営環境等を勘案して、2025年5月12日公表の通期業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日（2025年11月5日）公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,342	328,570
受取手形、売掛金及び契約資産	672,538	687,625
電子記録債権	577,483	634,589
商品及び製品	232,932	198,771
仕掛品	483,574	476,945
原材料及び貯蔵品	307,805	317,643
その他	32,640	21,989
貸倒引当金	△190	△200
流動資産合計	2,665,127	2,665,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	727,038	705,489
機械装置及び運搬具（純額）	594,145	622,331
土地	343,220	445,540
建設仮勘定	97,164	60,736
その他（純額）	53,996	56,957
有形固定資産合計	1,815,565	1,891,056
無形固定資産		
のれん	22,507	20,006
その他	179,941	138,809
無形固定資産合計	202,449	158,816
投資その他の資産	447,191	258,140
固定資産合計	2,465,205	2,308,013
資産合計	5,130,333	4,973,950

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	477,091	547,897
短期借入金	817,460	410,000
1年内返済予定の長期借入金	275,258	692,060
未払法人税等	29,194	18,895
賞与引当金	62,763	64,338
その他	242,711	168,389
流動負債合計	1,904,478	1,901,581
固定負債		
長期借入金	1,006,663	880,242
退職給付に係る負債	303,686	331,195
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
その他	31,745	28,845
固定負債合計	1,369,986	1,268,173
負債合計	3,274,464	3,169,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	536,364	613,878
自己株式	△51,112	△51,112
株主資本合計	1,720,431	1,797,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,186	358
為替換算調整勘定	8,250	5,890
その他の包括利益累計額合計	135,437	6,249
純資産合計	1,855,868	1,804,194
負債純資産合計	5,130,333	4,973,950

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30 日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30 日）
売上高	2,000,946	2,045,552
売上原価	1,600,081	1,744,659
売上総利益	400,865	300,892
販売費及び一般管理費	324,397	351,044
営業利益又は営業損失（△）	76,467	△50,152
営業外収益		
受取利息	30	337
受取配当金	3,858	2,771
為替差益	-	2,055
その他	7,043	2,279
営業外収益合計	10,932	7,442
営業外費用		
支払利息	5,500	10,537
その他	7,033	2,743
営業外費用合計	12,534	13,280
経常利益又は経常損失（△）	74,865	△55,990
特別利益		
固定資産売却益	-	433
投資有価証券売却益	-	157,061
特別利益合計	-	157,494
特別損失		
固定資産廃棄損	12	0
特別損失合計	12	0
税金等調整前中間純利益	74,852	101,503
法人税、住民税及び事業税	37,991	11,595
法人税等調整額	△3,149	△8,392
法人税等合計	34,842	3,203
中間純利益	40,010	98,300
親会社株主に帰属する中間純利益	40,010	98,300

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日）
中間純利益	40,010	98,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,182	△126,827
為替換算調整勘定	3,311	△2,360
その他の包括利益合計	△22,870	△129,188
中間包括利益	17,139	△30,887
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	17,139	△30,887

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	74,852	101,503
減価償却費	93,366	116,903
のれん償却額	-	2,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,820	1,574
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,105	27,508
受取利息及び受取配当金	△3,888	△3,108
支払利息	5,500	10,537
為替差損益(△は益)	3,739	△2,055
有価証券売却損益(△は益)	-	△157,061
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△433
固定資産廃棄損	12	0
売上債権の増減額(△は増加)	59,854	△72,192
棚卸資産の増減額(△は増加)	△33,118	30,950
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,356	70,806
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,891	37,208
その他	△28,168	4,252
小計	100,817	168,906
利息及び配当金の受取額	3,888	3,099
利息の支払額	△5,580	△10,293
法人税等の支払額	△49,171	△21,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,953	140,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△224,882	△248,651
有形固定資産の売却による収入	-	433
無形固定資産の取得による支出	△6,270	△6,140
投資有価証券の取得による支出	△782	△581
投資有価証券の売却による収入	-	230,224
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△30,402	-
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
その他	2,502	△1,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,835	△26,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	288,000	△407,460
長期借入れによる収入	-	445,000
長期借入金の返済による支出	△139,378	△154,619
自己株式の取得による支出	△195	-
配当金の支払額	△20,518	△20,386
その他	△1,460	△3,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,447	△140,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,856	△2,856
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△77,577	△29,772
現金及び現金同等物の期首残高	357,181	308,342
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	38,134	
現金及び現金同等物の中間期末残高	317,738	278,570

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(中間連結キャッシュ・フロー計算書)

前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「貸付けによる支出」は、金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「貸付けによる支出」に表示していた△2,234千円は、「その他」として組み替えております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

1. 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	3,967千円	1,897千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
賃金及び手当	78,961千円	85,651千円
賞与引当金繰入額	13,998	12,836
退職給付費用	4,144	9,570
荷造発送費	57,454	72,895

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,894,390	87,856	18,699	2,000,946	-	2,000,946
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,894,390	87,856	18,699	2,000,946	-	2,000,946
セグメント利益	195,073	1,318	11,502	207,895	△131,427	76,467

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. なお、当中間連結会計期間に連結の範囲に含めました寺田精工株式会社及び徳清澳喜睦鍊条有限公司の両社については、いずれもチェーン事業のセグメントとして位置付けております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2024年7月2日付で寺田精工株式会社の全株式を取得いたしました。これにより、チェーン事業セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は25,008千円であります。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,913,667	113,104	18,780	2,045,552	-	2,045,552
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,913,667	113,104	18,780	2,045,552	-	2,045,552
セグメント利益	69,309	8,462	11,507	89,280	△139,432	△50,152

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。